

合衆国における湿地の喪失—1780年代から1980年代まで

理事 紀陸 富信

概要

1989年に、議会は内務省に対し各州における1780年代及び1980年代の湿地の調査を指示した。議会は又、200年間における各州の湿地の喪失面積の割合の調査を要求した。

本報告書をまとめるにあたっては、湿地面積に関する最も信頼できるデータを提出するための努力が払われている。

植民地時代においては、現在50州からなる地域に推定3億9千2百万エーカーの湿地が存在した。このうちの2億2千万エーカーはアラスカとハワイを除く48州に、1億7千万エーカーはアラスカに、そして5万9千エーカーはハワイに位置していた。

200年の間に、下部の48州は元の湿地の53%を失った。アラスカは1%を失い、一方ハワイは12%を失った。平均すると、このことはアラスカとハワイを除く48州が1780年代から1980年代の間に毎時間60エーカー以上の湿地を失ってきたことになる。この報告書に示されたデータは、22州は元の湿地の50%以上を失ったことを示している。カリフォルニアは各州の中で失った湿地の割合が最も高い(91%)。フロリダは失った湿地面積が最も大きい(9百30万エーカー)。

序論

合衆国には、様々な種類の湿地—アラスカにある永久凍土層の下にある湿地、ハワイにある熱帯雨林、乾燥した南西部にある河川の沿岸地域の湿地—が存在している。湿地は国の全ての州にあるが、これらの湿地は気象、植生、土壌、及び水文条件の相違により、大きさ、形状、種類が異なっている。

アメリカの植民地時代以来、湿地は生産的な土地利用にたいして邪魔もの扱いされてきた。沼地、泥沼、及びその他の湿地は、自然地としての役割や生産性に対して、より高い生産性を持った土地にするために、排水され、埋め立てられ、あるいは改良されるべき荒地地と考えられていた。最近我々は、湿地が生産的かつ極めて価値の高い公共の資源を構成する重要な土地であることに気づき始めた。湿地

は、魚類及び野生生物の居住地を供給し、海岸線の洗掘を防ぎ、洪水を貯留し、河川を汚染する堆積物を捕捉し、そして気候の変化を緩和するために重要である。

合衆国は200年に及ぶ湿地変換の歴史を持っている。なぜならば、湿地の価値及びその全般的な環境上の重要性に気づいたのはごく最近のことだからである。全体として、湿地の喪失は我々の自然環境の基盤の質を低下させ、現在我々は、経済、社会、及び環境の目標を注意深く調和させなければならないところまで来ている。合衆国においてどのくらいの広さの湿地が失われたかという問題は、自然資源の変化を制限することについての激しい論争を引き起こしてきた。現存する湿地面積についての誇張や誤った報告は、現実のデータに基づいたものではなく感情的な論争の結果である。内務省によって作成された本報告書及び今後の報告書は、我が国における湿地面積の現状について必要な情報を与えるものである。

1780年代から1980年代までの調査成果

現在合衆国を構成している国土には、元は約3億9千2百万エーカーの湿地があった(下部の48州に2億2千万エーカー)。各州毎の湿地の分布を歴史的に推定してみると、21州が3百万エーカーかそれ以上の湿地を持っていた

湿地の分布及びその広大な面積は1780年代以降著しく変化した。アラスカとハワイを除く48州には1980年代に1億4百万エーカーの湿地が残存した。この数値は元の総面積に対して53%の喪失になる。50州全体では2億7千4百万エーカーの湿地が残っている。1980年代において、湿地はアラスカとハワイを除く48州の総面積の5%を占めているにすぎない。アラスカとハワイを含めると12%になる。アラスカ州は湿地面積の大半を占め、この州に推定1億7千万エーカーの湿地があると信じられている。これは合衆国の総湿地面積の約45%に相当する。

下部48州の中でフロリダ、ルイジアナ、ミネソタ、及びテキサスは最も大きな湿地を持つ4つの州である。それに次ぐ大きな湿地を持つ州は、アラバマ、ジョージア、メーン、ミシガン、ミシシッピ、ノースカロライナ、サウスカロライナ、及びウィスコンシンである。

本文は、Dahl, T. E. 1990. Wetlands losses in the United States 1780's to 1980's. U.S. Department of the Interior, Fish and Wildlife Service の抄訳である

200年間に失われた湿地のデータによれば、アラスカ州は失った面積の割合が最も小さい（推定1%以下）。ハワイ州、ニューハンプシャー州、及びロードアイランド州の各州も失った面積が小さく、それぞれ7,000、20,000、及び38,000エーカーである。しかしながら、この数値は、各州の失った湿地面積の割合としては、ハワイにおいては12%、ニューハンプシャーにおいては9%、及びロードアイランドにおいては37%に相当する。

10の州－アーカンソー、カリフォルニア、コネティカット、イリノイ、インディアナ、アイオワ、ケンタッキー、メリーランド、ミズーリ、及びオハイオ－は元の湿地面積の70%あるいはそれ以上を失った。結局、22の州は50%以上の湿地を失ってきた。湿地を失った割合の最も高いのはカリフォルニアである（1780年代から1980年代までに推定91%の喪失）。フロリダは200年の間に約9百十万エーカーを喪失した。

アラスカ、ニューハンプシャー、及びハワイ以外に湿地の喪失面積の割合が20%以下の州はない。

国の現状

1780年代から1980年代の間における国全体の湿地の喪失は劇的である。国の特定の地域における損失はさらに驚くべきである。例えば、中央西部の農場ベルト地帯にあるイリノイ、インディアナ、アイオワ、ミシガン、ミネソタ、オハイオ、及びウィスコンシン州は、合衆国建国以来3千6百万エーカー以上の湿地を失った。これは合衆国の歴史において失った全湿地面積の約1/3に相当する。湿地資源が実質的に減少しなかったのはアラスカが唯一の州である。

国の湿地に関する元のデータが不完全なために、現在残っている資源の健全度を正確に評価することは難しい。しかしながら、人口の増大と分布及び農業開発が土地利用形態を大幅に変え、それが湿地に影響を与えた。この報告書に示されたデータから明らかなように、湿地を保全するための努力が州、及び連邦の法律によって次々と講じられてゐるにもかかわらず、毎年数十万エーカーの湿地が干拓されてきた。

合衆国は引き続き、物理的、環境的な限界と自然資源の開発とを一体のものと考え調和させるよう挑戦しなければ

ならない。資源開発に対する要求を満たすために、合衆国は、魚類や野生生物、環境の質、及び社会経済資源の価値の保護に努めながら、開発の効果を増大させるための法律、規則、及び政策を導入している。このような保護対策の発展のためには、環境変化に対する洞察力が刺激となっている。これらの変化は大変微かなものであるが、国の湿地の喪失に関するデータは継続的な損失が価値ある資源を危険にさらすであろう事を明確に示している。200年以上にわたり湿地面積は減少し続け、現在は環境的な価値や社会経済的な価値（例えば、地下水供給と水質、海岸線の洗掘、洪水貯留と堆積物の捕捉、及び気候変化）が重大な危機に瀕する状況に立ち至っている。

（訳者注）

湿地面積等をKm²の単位に換算すると、下記の通りとなる。

(1 acre=0.00404686 Km²)

	全面積 10 ³ Km ²	1780年代 湿地面積 10 ³ Km ²	全面積に 占める割合 %	1980年代 湿地面積 10 ³ Km ²	全面積に 占める割合 %	喪失した 湿地割合 %
アラスカ・ハワイを除く48州	7,827	895	11	422	5	-53
アラスカ	1,519	689	45.3	688	45.3	-0.1
ハワイ	17	0.29	1.4	0.21	1.3	-12
合衆国合計	9,363	1,584	16.9	1,111	11.9	-30

各州の面積に占める湿地の割合

